

事務事業名	交通安全事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	終了		
H29作成課等名	危機管理室	H29係等名	交通安全係		H28担当課等名 危機管理室			
基本計画上の位置づけ	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり					
	施策	42	交通安全の推進					
目的	対象(誰・何を)	歩行者及び自転車・自動車運転者等全ての道路利用者			対象指標	指標名及び単位	28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	交通安全に対する意識が高まる				飯田市の人口(人)	103762	
	向上させたい上位施策の成果指標	交通事故死傷者数						
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	人身事故発生件数の抑止		410	369	400	419	
	成果指標	シートベルト着用率(総合)		1	0.98	1	1	
定性目標								
事業概要	道路交通の安全を確保するため、各まちづくり委員会等の組織内の交通安全担当委員会において、道路利用者に対する交通安全の啓発、幼児・児童、高齢者に対する交通安全教育、交通安全運動における広報・啓発等を行い、交通安全思想の普及を行う。							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	1	交通弱者に対する交通安全教育の実施	1	交通安全教育回数	1	99回		
	2	交通安全高齢者宅訪問	2	高齢者宅訪問戸数	2	70戸		
	3	交通安全パトロール・広報	3	パトロール等回数	3	80回		
	4	交通安全運動中の人波作戦、指導所	4	指導所等回数	4	75回		
	5	飯田市安全大会の開催	5	市民大会回数	5	1回		
	6	交通少年団の活動	6	少年団活動・回数	6	7回		
	7	シートベルト着装の啓発活動	7	指導所、広報等回数	7	6回		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		1,178	1,405	1,110	0			
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他								
一般財源		1,178	1,405	1,110				
人件費計(千円)②		1,073	0	1,073	0			
正規職員所要時間		300		300				
臨時職員所要時間								
総事業費①+②		2,251	1,405	2,183	0			
事業内容・目標達成状況の振り返り	飯田市の交通事故発生件数・死者数は増加に転じた。高齢者が関与した交通事故についても約4割であることから、引き続き高齢者に対する交通安全対策として交通安全講習、家庭訪問を実施して安全意識の高揚を図っていく。							
改革改善の考え方	①問題点	交通事故発生件数のうち、高齢者が関与した交通事故は高水準で推移していることから、高齢者ドライバーへの交通安全講習や夜間歩行者に対する夜光反射材の利用促進を図る必要がある。						
	②改革提案	各地域におけるいきいき教室でのワンポイント交通安全教育の強化や夜光反射材の利用促進を図る。						